

新製品

レーザ加工機市場に参入！新世代リニアモータ駆動搭載 フェムト秒レーザ※加工機「LSP5070」販売開始

工作機械の新製品「LSP5070」は、当社の強みであるリニアモータ制御技術と最先端のフェムト秒レーザ技術及びAI機能、IoTプラットフォームなどを融合させて、汎用性／高速度を追求し大型材料の加工に対応したリニアモータ駆動フェムト秒レーザ加工機です。

燃料電池用の金型加工向けをターゲットとしており、一般的なプレス金型鋼の10倍以上の耐久性を持つ超硬度粉末高速度工具鋼製の金型加工に対応する精度及び速度を実現しました。

今後、レーザ加工機市場においては、大型燃料電池車の普及による市場拡大の期待が高まるとともに、量産効果を高める耐久性の高い金型の需要が見込まれます。当社の強みを活かし、積極的に展開していきます。

※フェムト秒(1000兆分の1秒)単位で発振される超短パルスレーザ。
加工領域の熱損傷を低減し高精度かつきれいな加工が可能。



▲ フェムト秒レーザ加工機「LSP5070」

新製品

進化したハイブリッド 縦型ロータリ式 射出成形機 「VR G シリーズ」の小型機種 3 製品の販売開始

射出成形機の新製品「VR G シリーズ」は、従来の「VRE シリーズ」のV-LINE®による正確な充填と安定した可塑化、ハイブリッド直圧型締による正確で均一な型締力をそのまま継承するとともに、新たに国際安全規格ISO20430 (JIS B 6711) に準拠。また、新コントローラの搭載や新操作画面の採用により、さらなる制御能力向上を実現した次世代の射出成形機です。

今回販売する「VR03G／VR20G／VR40G」に加えて、同シリーズ最大機種「VR200G」は、2024年1月より販売開始しており、すでに販売している「VR75G／VR100G／VR150G」も含め同シリーズの全ラインナップが揃うことになり、金型サイズに応じて最適な機種を選べます。



▲ 制御能力向上を実現した次世代の射出成形機「VR G シリーズ」



「Material Trial Unit」が『“超”モノづくり部品大賞 日本力(にっぽんぶらんど)賞』を受賞

「第20回／2023年“超”モノづくり部品大賞」において、金属3Dプリンタ用試験造形対応ユニット「Material Trial Unit」が「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞しました。この賞は、「縁の下の力持ち」的存在として日本のモノづくりの競争力向上や産業・社会の発展に貢献する優れた部品・部材に贈呈されます。同製品は、画期的なアタッチメント方式の導入によりユーザーが手軽に扱えるように設計されており、従来の材料交換における手間、時間、高額な費用の課題を大きく改善できた点が評価されました。

2021年不活性ガス溶解射出成形システム「INFILT-V®」の「環境・資源・エネルギー関連部品賞」、2022年調理麺製造ライン用自動麺ほぐし・調味機「ネオマザール」の「機械・ロボット部品賞」に続き、3年連続の受賞となります。今後もお客様のモノづくりに最適なソリューションを提供すべく、よりよい製品の開発に邁進してまいります。



▲ 「第20回／2023年“超”モノづくり部品大賞」贈賞式

加賀事業所 食品機械工場拡張工事が完了 生産能力増強で販売拡大をめざす

2023年11月に加賀事業所の食品機械工場の拡張工事が完了し、竣工式を行いました。

今まで課題となっていた、組立エリア、ショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張することにより、主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制強化に加え、チルド米飯、惣菜、製菓等の生産加工機械分野にも事業領域を拡大していきます。

また、増築工場には、既設工場同様に太陽光発電設備を設置し、2024年春の稼働を予定しています。再生可能エネルギー導入を積極的に推進し、カーボンニュートラルの実現をめざしてまいります。



◀ 竣工式で挨拶をする古川社長
▶ 新工場外観

